

2018年1月18日

東京大学大学院情報学環附属
ユビキタス情報社会基盤研究センター
〒113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1

東京大学情報学環オープンデータセンター設立について

東京大学大学院情報学環では、情報学環附属 ユビキタス情報社会基盤研究センター（センター長：越塚登・東京大学大学院情報学環教授、参考1）内に、オープンデータに関する研究開発及び人材育成を目的として、2018年1月18日に、東京大学情報学環オープンデータセンターを設立いたしました。学際的な立場から総合的にオープンデータに取り組む専門組織は、日本の大学では初めてです。

本センターでは、オープンデータに関連する教育研究活動を行います。また、国内の地方公共団体のオープンデータ化、もしくはEBPM(Evidence-Based Policy Management)に取り組むためのプラットフォーム環境の提供、人材育成、及び国際連携を、産官学が連携して進めます。本センターの主な活動は、下記の通りです。

記

1. 東京大学情報学環オープンデータセンターが取り組む事業概要

(1) オープンデータに関する教育研究

- IoT (Internet of Things:モノのインターネット) やブロックチェーン、P2P等、オープンデータに関する最先端技術の研究
 - オープンデータの分析や可視化に関する研究
 - オープンデータライセンスに関する研究
 - オープンデータを活用したEBPM (Evidence-Based Policy Making) の研究
 - オープンサイエンスのためのオープンデータのあり方の研究
 - オープンデータを扱う技術スキルセットの検討
- 等

(2) オープンデータ・プラットフォームの研究開発

- オープンデータ・プラットフォームに関する研究・試験環境の提供
 - 自治体におけるオープンデータ立ち上げ支援
- 等

(3) オープンデータ人材育成

- オープンデータのハンズオン実習
- MOOCs によるオンライン学習環境の提供
- オープンデータを用いたアイデアソンやハッカソンの企画・運営等

2. お問い合わせ先

東京大学情報学環ユビキタス情報社会基盤研究センター

(担当：住友)

E-mail: office@utacs.org

【参考1】

東京大学情報学環附属「ユビキタス情報社会基盤研究センター」

東京大学情報学環附属 ユビキタス情報社会基盤研究センター（センター長：越塚登・東京大学情報学環教授）は、1980年代に坂村健 東京大学名誉教授が世界に先駆けて提唱した Ubiquitous Computing/IoT の情報通信技術体系を活かして取り組んだ、21世紀 COE プログラム「次世代ユビキタス情報社会基盤の形成」（平成 16～20 年）の研究成果を引き継ぎ、総合分析情報学コースの教育と連携して、Ubiquitous Computing/IoT に関する世界最高の教育・研究拠点の中核を担うことを目的として、平成 21 年 4 月に設立された。